

開校 140 周年記念 展覧会を終えて

ぴかぴか・きらきらの展覧会 1年担任 中俣 房子

1年生は、豊玉小学校 140 歳を祝う気持ちを込めて平面作品「おめでとうフィッシュ」を描きました。ぴかぴか光る素材でおしゃれをした魚を楽しみながら描きました。立体作品の「未来のロボット」も、きらきらした金や銀でペイントした後、かわいく、かっこよく飾りました。平面作品で現在、立体作品で未来を表現し、共同作品でその二つをつなぐ「未来にかける虹」を描きました。大きな身振りで手話をつけて歌いながら、ハンドペイントで虹を塗りました。ぴかぴかの笑顔で、きらきらと希望に輝く未来へ、大きな虹を架けました。

6年生とのペア鑑賞では、豊玉鉄道に乗車した後、お互いの作品を紹介し合い、仲良く、和やかに鑑賞しました。



展覧会を盛り上げ隊 2年担任 小田野 かおり

元気いっぱい2年生が、開校 140 周年の記念すべき展覧会をお祝いしました。豊玉トリオをモチーフにしたおみこしを作り、「わっしょい！わっしょい！」というかけ声と共に担ぎました。展覧会をイメージしたオリジナルの歌と様々な楽器を使ったリズム隊も加わり、賑やかな展覧会の幕開けとなりました。

子供学芸員では、自分たちがどんな思いで作ったかを一生懸命伝えました。また、上の学年の作品を見て、「自分たちもあんな作品を作りたいな。」と憧れの気持ちを持ちました。



ダンスで盛り上がりました！ 3年担任 伍堂 祐子

わくわくアート発表会のファッションショーは、初めは「え～！ファッションショー！」と尻込みする声も聞こえてきましたが、グループごとにテーマを決め、衣装作り、ポーズの練習と進むうちに、気持ちが高まってきました。そして、最後の「恋ダンス」も、次第にやる気が出てきて、本番はノリノリで踊り、すてきなショーになりました。5年生とのペア鑑賞ができなかったことが、心残りです。

その他、どの作品にも、一人一人の思いや、がんばって作った成果が現れていました。作品を作っているときの楽しそうな様子も、「子ども学芸員」の説明から感じていただけたのではと思います。



楽しませようと考えた動画ショー 4年担任 赤池 侑子

わくわくアート発表会では、「かげ絵でショー」の1分動画ショーの上映を行いました。光を当てると影になるように、材料を選んで作成したキャラクターを操作しながら、「お祝い・心が温まる」をテーマにしたお話を考えました。当日は、2年生が笑ったり、拍手をして喜んだりしている様子を見て、少し照れながらも、満足そうな表情をしていました。

子供学芸員では、2年生とペアになり、お互いの作品への思いを伝え合うことができました。「次は、何を見に行こうか。」「ビー玉コースターに行ってみようか。」などと声をかけ、2年生の思いを受け止めながら、鑑賞する姿が印象的でした。また、高学年の立体作品や家庭科作品を鑑賞し、これから自分たちも制作していきたいという意欲を高めていました。



「楽しませることを楽しむ」 5年担任 浅沼 由香里

納得いくまで彫り進め、何度も刷った版画。凝りに凝った飾り付けで、にぎやかな大作となったジャック。そして、思いが膨らみ、作るのも試すのも楽しかったビー玉コースター。本番当日を楽しみにしていた5年生ですが、インフルエンザ大流行で学年の3分の1以上がいないうちでのわくわくアート発表会となりました。

3年生とペアで鑑賞することはできませんでしたが、一つ一つの作品をていねいに見て、手紙を書いていました。また、多くの人がビー玉コースターを楽しんでくれている様子を見て、「作ってよかった。」という思いを味わっていました。



豊玉鉄道でGO！ 6年担任 菊地 良太

豊玉鉄道の制作は12月から始まりました。電車チーム、駅チーム、車掌チームに分かれ、分担して作業を進めてきました。電車チームは板段ボールを使っての電車作り、駅チームは段ボールや走り高跳びの道具などを使っての駅作り、車掌チームは波段ボールを使っての帽子作りや不織布を使った衣装作りを行いました。アートの発表では1年生や保護者の方々に乗っていただき、6年生もとても喜んでいました。

1年生とのペアでの鑑賞は見ていてとても心が温まるものでした。1年生と手をつないだり、肩を抱いたりして、優しく1年生を見守っていました。



140周年記念展覧会を振り返って 図工専科 本間 順子

今回の開校140周年記念展覧会では、「感じよう！楽しもう！笑顔あふれる豊玉アート」のスローガン通り、参観した方が笑顔になれるように計画をしました。特にわくわくアート発表会では、図工で学んだ学習の成果を見ていただくために様々な形式で発表を行いました。準備から当日の参観まで多くの方のご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。今後とも、本校の図画工作の教育にご理解とご協力をいただければ幸いです。

3つの書き初め展 岩田 洋幸

1月14日から20日までの1週間、校内書き初め展を開催しました。お手本とそっくりの字を書くために、書き始めの位置や止め・はね・はらいなどに気を付けて何度も練習して書き上げました。一文字一文字丁寧に書きながら、「この字はお手本みたい。」「はらいが上手に書けて良かった。」などと嬉しそうに話す児童の姿が印象的で、作品からも一人ひとりの一生懸命に取り組んだ思いが伝わってきます。特に見事な作品を書き上げた児童は、28日(土)と29日(日)の2日間、練馬区立美術館で行われた連合書き初め展に出展しました。美術館にずらりと並んだ力作は、非常に見応えがあり圧巻でした。また、2月3日(金)から7日(火)には、練馬区役所で三校ふれあい書き初め展が行われますので、是非ご参観頂ければと思います。



校内研究授業 2年担任 小林 健太

2年生は、算数「図を使って考えよう」の校内研究授業を2年1組で藤方先生が行いました。前時と本時の問題を比較して、テープ図のよさに気付いたり、名前入りのマグネットを使って「分かった」「悩んでいる」を表したり、子供たちがすすんで学習できるように工夫しました。事前に2組や3組でも同様の授業を行い、学年で取り組むことができました。授業者を支える低学年分科会は、夜遅くまで授業を考え、教具を準備し、模擬授業も行いました。その結果…授業者である藤方先生はとても緊張していましたが、授業は楽しい雰囲気、子供たちは意欲的に学習していました。2年生は、これからも子供たちにとって「楽しい」「分かる」授業が展開できるように励みます。



4年健康教育 くすり教育の授業 保健主任 伊藤 節子

1月14日学校公開で、4年生各クラスに「くすり」の保健指導を行いました。学校薬剤師の澤原直美先生をお招きして、くすりの使い方や、くすりの作用について指導をしました。思春期を迎え始めたこの時期は、著しく体が成長します。自分の健康に関心をもち、セルフディケーション(自分の健康は自分で手当する精神)を身に付けていくことがねらいです。4年生の保護者の皆様には、子供たちが授業で学んだことをご家庭で話題にいただき、ご感想をたくさんお寄せいただきました。『健康力』について多くのことをお話し頂いたことに感謝しています。今後も、保護者の皆様と共に「健康でいる大切さ」を子供たちに実感させる指導を充実させていきます。ご協力をお願いいたします。



クラブ見学 3年担任 紺多 章一郎

先月の12日に、4年生から始まるクラブ活動の見学をしました。6年生の各クラブ長がクラブの内容について分かりやすく説明し、3年生の子供たちは具体的なイメージを掴むことができました。3年生に感想を聞いたところ、「ぼくは〇〇が得意だから、〇〇クラブに入りたい。」や「やったことないけど、クラブ長さんが素人でも大丈夫で言っていたから、〇〇クラブに入りたい」などと話し、楽しみにしている様子が伝わってきました。4年生に向けてよい経験ができました。

